

平成 29 年度第 1 回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 平成 29 年 7 月 7 日（金）15：50～18：00
- 2 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 1
- 3 出席者 委員 尾形会長、柏木副会長、渡辺委員、大石委員、野坂委員、中野委員、北原委員
事務局 山本文化課長、黒澤館長、鎌田副主幹、内山副主幹
- 4 傍聴者 無
- 5 報告事項
 - (1) 図書館協議会の役割について
 - (2) 図書館概要について
 - (3) 平成 28 年度図書館事業実績報告について
 - (4) 平成 29 年度図書館事業計画について
- 6 協議事項
 - (1) 図書館運営の目標値の達成状況と改善点について
 - (2) レファレンスサービスの拡充について
- 7 その他
- 8 配布資料①会議次第
 - ②平成 29 年度しろいの図書館年報
 - ③会議資料
 - ④図書館利用案内・インターネットガイド・カレンダー
 - ⑤文化センターだより 6・7 月号
- 9 議 事 以下のとおり

会長	委嘱状を交付され初めての会議となった。会議は年に 2 回と少ないが、七夕の出会いよりも多いと考えて実りある会議にしたい。微力だが努力する。初めての委員が多いので不明な点はすぐに質問して明らかにすると更に実のある意見がでると思う。
事務局	報告事項(1)図書館協議会の役割について(2)図書館概要について、白井市第 5 次総合計画及び教育大綱に基づいた、図書館運営方針と平成 29 年度の具体的取り組みについて説明を行った。 今後「白井市立図書館サービス推進計画」を委員の皆様にご協力いただきながら策定したいと考えている。次回には素案を提示するので審議していただきたい。
会長	先ほどの白井市は県内でも高い評価を得ているというのは、年報の P38 の「県内公立図書館サービス指標」に依るものか。
事務局	現在は予算が減っているが、潤沢な予算があった開館当初から積みあげた数値が県内の中でも高い評価を得ている。白井は司書率が高い。

	<p>利用者が求めている資料を届けるという司書としての役割を果たすため、研修や自己研鑽を積んで磨いている。</p>
会長	<p>職員 10 名のうち 8 名が司書ということ、司書の役割とは何か。本日の議題「レファレンスの拡充」を協議する上で確認しておきたい。</p>
事務局	<p>司書資格は国家資格ではない。大学などで資格を取るが、学問だけでなく知識と経験がものを言う。カウンターで利用者の要望を聞き取り、選書に生かしていくこと。自館の資料を知り求めに応じて提供できるか。自館に所蔵のない資料を他市町村・県立や国会から探し出して提供する。カウンターでの対応によって司書として育てられるし、人間性も現れると思う。</p>
会長	<p>館長からセンター図書室と図書館の使い分けの話があったが、28 年度の実績数値は両者の合計値か。例えば職員 10 名のうちに 8 名が司書、またレファレンス件数がでていますがこれはセンター図書室を含むのか。</p>
事務局	<p>職員数・レファレンス件数については図書館のみの数となっている。センターでは司書が図書室を運営しながら事務所の仕事をする者もいる。センターの指定管理者には図書室業務にあたる人には司書資格もしくは図書館勤務経験のある人を要望している。</p>
会長	<p>司書がない図書室でサービスの質が異なることはないのか。利用者で不公平感が起こるのではないかと確認したい。</p>
事務局	<p>センター図書室の職員は、司書資格のある者、若しくは図書館勤務経験がある者を配置するよう指定管理者の仕様書に明記してある。また、図書館でサービスマニュアルに添って研修を行い、どの図書室でも同じサービスが提供出来るようにしている。日々の業務で不明な点は、図書館にすぐ連絡がつく体制をとっている。指定管理者の図書室担当者の評判は良い。</p>
事務局	<p>報告(3)平成28年度図書館事業実績報告について (4)平成29年度図書館事業計画について 説明を行った。</p>
委員	<p>28 年度当初予算の執行に変更はなかったか。</p>
事務局	<p>ほぼ当初予算どおりに執行した。非常勤職員関係の予算は、年度途中で退職者がでたため、執行残があった。資料費については、全額執行</p>

	した。
委員	28年度主要事業について。音訳や対面朗読の実績が少なかったようだ。障害のある方への図書館から周知はどのようにしているか。
事務局	福祉課から問い合わせや、来館者にはサービスについて案内をしている。広報しろいにも周知している。
委員	社会福祉課の話になると思うが、例えば障害者手帳の交付時や2年毎の更新の際に図書館利用案内を配布するなど、直接手渡さないと障害のある方たちに図書館で行っているサービスがわからないのではないか。また、図書館ホームページにもわかりやすい案内を出すと良いのではないか。障害のある方が、図書館サービスを知らないで終わってしまうのはもったいないと思う。
事務局	市内2つの高齢者施設には、施設の担当者からの要望を伺って団体貸出をしている。また、施設に入った利用者から「今までと同じように図書館を利用したいがどうしたらよいか」との相談を受けて、施設と図書館が協議して資料を届けることになった。
事務局	障害者サービスは白井の弱い部分である。社会福祉課と相談して窓口に利用案内を置かせてもらったこともあるが、利用は広がっていなかった。市民課の窓口では、転入者に配る転入者セットに図書館の利用案内も入れている。障害者手帳配布時に渡すというのはとても良いと思う。関係課と相談する。
会長	よいご意見、提案と思う。今年度の運営方針の第一番に子ども・高齢者・障害者へのサービスをあげている。中間報告の際に具体的な施策と運用実態を入れていただけると良いと思う。サービス計画は、予算数値の増減だけでなく、図書館施策にリンクした評価ができるような資料があるとわかりやすいし、改善の仕方も変わってくるのではないか。また、アンケート項目は、図書館側が力を入れたいことに、利用者はどのように考えているのかがわかるようなものだと、アンケート結果を施策に活かせるのではないか。
委員	ブックスタートでボランティアとして参加していたが、赤ちゃんと保護者に読み聞かせする時間は心和む時間であった。ボランティア活動の終了は残念だった。知人から鎌ヶ谷市の活動を聞くと、活動開始時の考え方が、白井市とは違うようだった。鎌ヶ谷市では福祉的な意味合いが強い。子どもが検診を受診することで、子どもの成育環境を確

	<p>認できる機会であると主張することで、予算の確保できているようだ。今の白井市の状況を聞いていると難しいと思うが、何か活動ができないかと感じた。</p>
<p>会長</p>	<p>ご報告の中で委員の意見を聞きたい項目はないのか。例えば、ボランティア数についてもブックスタート類似事業が数あるボランティア活動の中の一つなのか。子どもに対してのサービスは重点施策なのに強化しようという時にやめることは問題ではないか。問題意識のウエイトを高くして、改善策はないか、協議して欲しいということなのか。「やめました。」「そうですか。」で終わらせてよい話なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ブックスタートは平成14年度に開始した事業である。白井市が県内で最も早く取り組んだ経緯がある。途中からボランティアの方々にご協力いただいた。この事業は、健康課の4か月育児検診の際の協力事業で、今回検診時間短縮のためボランティアの協力をなくした。しかし、図書館職員が内容を工夫し事業自体は継続して行っている。図書館が主体なので、赤ちゃん絵本の紹介と読み聞かせを行い、絵本リストの配布・図書館利用案内を行っている。今後、図書館事業にボランティアとして市民の方々にどのようにご協力いただくか課題であると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>市全体の予算の中の図書館費だから、私達が要望を出すと予算が増えるということはあるのだろうか。市の方針があるから難しいのではないか。それを加味しなくてよいのだろうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市の財政状況が厳しいことはご存知だと思う。予算要求は担当課でも行っている。しかし、市の予算を組む時に入ってくるものと出て行くものの数字を合わせなくてはならず、市の財政当局に切られてしまう。皆さんからの意見が多いと私たちも強く交渉できる。忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>予算を重点的にどこに使うのか。本を読ませたいのは学校も同じである。ブックスタートというのも、小さい時から本を読みましよう、ということにもつながる。今はインターネットで調べるという人が多いが、その情報が正しいかわからない。書棚も魅力的でない利用されない。そのためには古い本を処分して新しい本を入れていく必要がある。図書館は、15年ぐらいで古いものが新しいもの変わっていくという話だが、学校ではもっと古い本がある。お父さん・お母さんが読んでいた本が並んでいる状況だと魅力を感じられない。棚に魅力ある本が並んでいると「借りたい」と思うだろうし、「予約しまし</p>

	<p>た。15人待ちです。」それでは、15番目に本が届いた時に読みたいかどうかわからなくなってしまう。私としては図書館によい本をたくさん揃えて欲しいが、資料費がどんどん減っているのが残念。</p>
委員	<p>白井の広報で、大山口小学校が表彰されたとのこと。本の利用が増えたということだが、どのような教育的効果があったのか。</p>
委員	<p>大山口小学校は学校図書館を使った授業を沢山した優秀な学校として千葉県内の3校に選ばれた。学校には学校司書を置くよう努力しなくてはいけない、と法律が変わった。白井市はそれ以前から学校図書館に力を入れている。県立高校には正規職員が配置されている。白井では非常勤職員だが、学校図書館に読書活動推進補助教員がいて授業に入っており、先進的な取り組みを行っている。この配置は県内でも上位クラスである。白井市立図書館からも資料を借りて、図書を使った授業を大山口中学校区が代表して研究を行った。14校の読書活動推進補助教員も協力した。市立図書館がバックアップしてくれるのも千葉県内ではすごいこと。是非このような活動が続けられるように協力したいと思っている。</p>
会長	<p>今の話のように、コンテンツが具体的な目標にないとだめだと思う。金が減った、数字が減っただけではなくて、そこに何のために、また続けるためには何が必要か、というのがないと。今のお話の中にヒントがあったと思う。市の事業の中で図書館が最低限やらなければいけないことは何か。(先ほどの例で)なぜ図書館が袋まで用意するのか、それは福祉目的なのか、明確にさせる必要があると思う。市の総合計画の中に「読書に親しむ」という中で、図書館はどの部分を担うのかということではないか。予算の配分も他の部門と一緒にプロジェクトとしてやる事業があれば、予算配分もしやすいのではないか。図書館は事業をよくやっているが、「暮らしに役立つ図書館」という目標の達成に繋がらないのは残念だと思う。また、アンケート結果は例えば、必ずしも視聴覚資料を増やして欲しいとは言っていない。貸出期間は2週間にして欲しいと言っている。どの年代の人がそう言っているのか。利用者の声を分析して検討につなげないと。真実に近いことが見えてこない。データの分析が足りないのではないか。総花的でなく、今年度の目標に沿ったアンケートをとられては。今後サービス計画はどうか。</p>
事務局	<p>サービス計画があつての目標値の設定であつたが、目標値が先になってしまった。議会での一般質問に答えたもので、目標値と実績を対比すれば改善点をあげやすい。このマネジメントサイクルを利用して、</p>

<p>委員</p>	<p>改善に向けた方策について皆さんからご意見をいただくことが第三者評価と運営の改善になる。ぜひ忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>市民の代表として私たちが要望を強く伝えることが大事だと思う。市の予算があることはもちろんわかるが、図書館の予算をつけて欲しいと私たちがあげることで、図書館がよりよくなっていけば、協議会の目標が達成できるかなと思う。ただ、このアンケートのとり方は問題がある。利用者数が減っていると言うのは利用しない人になぜ利用しないかが問題なのであって、図書館の利用者にどうして利用しているかと言うのはあまり必要ではない。もっと広い対象に質問できるよう、市役所のアンケートに図書館の項目を混ぜるような工夫が必要ではないか。このアンケートを市民抽出にして幅広く聞かないと、図書館のアピールにもつながらない。</p>
<p>委員</p>	<p>来なくなった人に聞くのが一番よい。「なぜ利用しないのですか。」と聞くのが一番効果的だが、方法が難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>他の課でも市民抽出でアンケートをしているようなので、それを利用すればよいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ボランティア活動について。今年度もおはなしの3団体と図書館で夏休みおはなしウィークを開催する。</p>
<p>事務局</p>	<p>協議事項（2）レファレンスサービスの拡充について説明</p> <p>なぜ、レファレンスサービスの拡充なのかを説明したい。全国の公共図書館は3300館ほどあるうち、約1割が指定管理者による運営となっている。図書館は、社会教育機関であるため、他の社会教育施設と比較しても指定管理者の導入は鈍いがそれでも少しずつ増えてきている。当市教育委員会では、直営で運営することとしている。図書館を直営でやる意味は何か、図書館司書の役割は何か、というところで、市民に役に立つ図書館、必要な資料を可能な限り提供する。直営でやる意味をアピールするためにレファレンスサービスが重要と考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>レファレンスサービスはとても必要だ。手元に資料で配られているレファレンス事例はおもしろい。図書館を利用してもらうには本好きにするのは個人の問題なので難しいが、本を使って学習をしましょう、本を使って調べましょう、は学校でできる。調べることは大切なことで、そのことを市民に伝えることもよいことだ。図書館を利用しても</p>

	<p>らうために、本好きな人を待っているだけでなく、こんなこともできますよ、とアピールして必要な人は来てもらう。</p>
会長	<p>そこに訴えかけるための、レファレンスの拡充なのだろう。</p>
委員	<p>障害の話に戻るが、先ほどの事例では聴覚や視覚の障害は、身体障害のくくりだと思う。障害にはその他に知的障害や精神障害があって、精神障害を持つ人も身体と同じくらい多い。</p> <p>例えば、発達障害の人へ「こんな資料があります」というような資料案内があれば、図書館を利用することになるのではないかな。また、DVDで「ADHDの人の気持ちを体験する」というものがあり、症状を理解するために利用する人もいると思う。案内のうちに精神障害・メンタルヘルスのことも含めておくとよいのではないかな。精神障害者に図書館の利用を促すと、家の外に出ることで精神症状の改善が期待できるし、図書館の利用が増えるのであれば、相乗効果になるのではないかな。</p>
委員	<p>目標値設定の中の疑問点について、わずか1年で登録者数が千人も減少している。理由をどのように考えているか。</p>
事務局	<p>有効登録者が減っている。高齢化によるものと分析している。</p>
会長	<p>市民活動として、回覧板などを利用して市の連絡事項に利用カードの有効期限について周知できるのではないかな。その活動をうまく生かしていけるのではないかな。</p>
委員	<p>母親の利用カードで子どもたちの分も借りている。登録者数が増えないですね。子どもは自分のカードを作ったほうがよかったのですね。</p>
会長	<p>アンケートの属性の中で、登録者の年齢と貸出資料の分析がレファレンスにもつながると思う。金をかけないところで知恵を働かせていけば、実態把握の中で計画や予算に生かせれば、皆さんの意見も活かされて、協議会の意義があると思う。</p>
委員	<p>祝日開館について。私も図書館が祝日に開館していることを知らなかったが、祝日開館をすることで何かメリットがあるのかな。加えて火曜日から土曜日まで19時まで開館しているが、その予算と資料を買う予算を比べてどうなのかなとを感じるが。</p>
事務局	<p>開館日を増やしたり、開館時間を長くしても、利用は増えない。やはり新鮮で豊富な魅力ある資料を揃えることで図書館の利用は伸びる</p>

	<p>のだと思う。</p>
会長	<p>議論は出尽くした。終わりにしたい。</p>
事務局	<p>この会議は年2回と少ない。日ごろ図書館をご利用になって気が付いた点や提案などあれば気軽に職員に伝えていただきたい。 長時間にわたりありがとうございました。</p>